

## 視覚障害者用「音声コード」の取り組みを

質問者 小 川 龍 美

視覚障害のある方が自立し、社会参加していくためには、情報のバリアフリー化が重要である。視覚障害のある方は、必ずしも点字が読める訳ではなく、多くの方は音声や拡大文字によって情報を得ている。文字内容をコード情報（音声コード）に変換して印刷したものを活字文書読み上げ装置を使って音声化する方法が利用されており、そのためには紙媒体に音声コードの記載が必要となる。町は発行物に音声コードを記載すべきと考えるが。